

エンタメ消費者動向の定期サービス『eb-i Xpress』

2019年春アニメ番組の視聴意向を発表！

～ 第1位は『「進撃の巨人」Season 3 Part.2』～

株式会社Gzブレイン(本社:東京都中央区、代表取締役社長:堀 健一郎)は、映画・テレビ・ゲーム・コミック・音楽などエンターテインメントの最新消費者動向を独自のユーザー調査から読み解く、企業向け定期サービス『eb-i Xpress』(イー・ビー・アイ・エクスプレス)を配信しています。

今回『eb-i Xpress』では、全国47都道府県に在住する5～69歳男女を対象とした、2019年4月に放送開始が予定されている春アニメ番組の視聴意向について、実態調査を行いました。

【2019年放送 春アニメ番組の視聴意向 総合ランキング TOP20】

※2019年春に開始する各アニメ番組の中から、“視聴したい”と選択した作品を集計。

順位	番組名
1	「進撃の巨人」Season 3 Part.2
2	機動戦士ガンダム THE ORIGIN 前夜 赤い彗星
3	ワンパンマン第2期
4	妖怪ウォッチ!
5	フルーツバスケット
6	『続・終物語』&『く物語』シリーズ』セレクション
7	文豪ストレイドッグス第3シーズン
8	鬼滅の刃
9	おじゃる丸 第22シリーズ
10	消滅都市
11	ダイヤのA act II
12	ぼくたちは勉強ができない
13	ストライクウィッチーズ 501部隊発進しますっ!
14	賢者の孫
15	ULTRAMAN
16	異世界かるてっと
17	この音とまれ!
18	アイドルマスターシンデレラガールズ劇場 CLIMAX SEASON
19	リラックマとカオルさん
20	この世の果てで恋を唄う少女 YU-NO

(単位:人 n=18270 集計期間:2019年3月4日～3月5日/出典:eb-i Xpress)

●2019年春アニメで最も視聴したい番組は、『「進撃の巨人」Season 3 Part.2』！

今回の調査で最も視聴意向が高かった春アニメ番組は、2位以下を大きく引き離す票数を獲得した『「進撃の巨人」Season 3 Part.2』となりました。2018年7月に放送された『Season 3 Part.1』同様、男女・世代を問わず、幅広い層からの期待を集めています。

第2位には、男性からの圧倒的な支持を集めて『機動戦士ガンダム THE ORIGIN 前夜 赤い彗星』がランクイン。劇場版『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』全6話を新たにテレビアニメ版として再編集した作品ということで、特に40代男性からの票を集め、根強い人気作品であることが伺えます。

第3位は、同名の人気ウェブ漫画を原作とした『ワンパンマン第2期』です。テレビアニメ放送のほか、ニコニコ生放送による同時配信も行われることが発表され、主に10～40代の票を集めました。

そのほかの傾向としては、同名の少女漫画を原作とし、今回2001年以来の再テレビアニメ化となる『フルーツバスケット』(5位)、漫画作品を原作とし、テレビアニメ化のほか、映画化、舞台化、ゲーム化と、様々なメディアミックス展開が話題の『文豪ストレイドッグス第3シーズン』(7位)の両作品については、特に女性からの支持が高く、女性のランキングで上位にランクインしています。

また、テレビアニメ『妖怪ウォッチ』の新シリーズ『妖怪ウォッチ！』(4位)は、主に10代未満～10代の票を集めました。同シリーズは2019年6月にNintendo Switch用ゲームソフトが発売、さらに今冬には映画が公開されることも決定し、テレビアニメ化とあわせて反響を呼んでいます。

【2019年放送 春アニメ番組の視聴意向 性別ランキング TOP5】

◆2019年放送 春アニメ番組 男性の視聴意向ランキング

順位	番組名
1	「進撃の巨人」Season 3 Part.2
2	機動戦士ガンダム THE ORIGIN 前夜 赤い彗星
3	ワンパンマン第2期
4	妖怪ウォッチ！
5	『続・終物語』&『〈物語〉シリーズ』セレクション

(n=9645 集計期間:2019年3月4日～3月5日 / 出典: eb-i Xpress)

◆2019年放送 春アニメ番組 女性の視聴意向ランキング

順位	番組名
1	「進撃の巨人」Season 3 Part.2
2	ワンパンマン第2期
2	フルーツバスケット
4	文豪ストレイドッグス第3シーズン
5	妖怪ウォッチ！

(n=8625 集計期間:2019年3月4日～3月5日 / 出典: eb-i Xpress)



◇ 『eb-i Xpress』 調査概要

国内 20 万人パネルから、全国 47 都道府県の 5～69 歳(※)の男女約 1 万人のモニターを対象に、エンターテインメント分野に関して Web 調査を行う、大規模ユーザーリサーチシステム「eb-i」を元に運用。映画・テレビ・ゲーム・コミック・音楽など各エンターテインメントジャンルについて、「eb-i」から抽出したデータをもとに、一定のセグメント・ユーザー嗜好を組み合わせたクロス集計を実施。(※)14 歳以下は保護者の代理回答となります。

◇ 『eb-i Xpress』 サービスについて

『eb-i Xpress』は、月次レポートと専用サイトのアクセス権を基本パッケージとしたサービスになります。月次レポートはエンターテインメント各ジャンルの接触ランキング、各種分析、時流に応じたテーマをデータで切り取る特集記事などから構成されます。専用サイトでは、随時更新される集計データと過去のアーカイブを閲覧することができます。

URL: <http://www.f-ism.net/>



◆ 株式会社 Gzブレイン(ジーズブレイン)について

株式会社 Gzブレイン(代表取締役社長:堀 健一郎)は 2017 年 7 月 3 日、カドカワ株式会社の 100%子会社として設立しました。

『ファミ通』『B's-LOG』ブランドをはじめとする情報誌の出版、Web メディアの運営といったゲームメディア事業を展開。

さらに、プロゲーマーチームのマネジメントや、ゲームイベントの企画・プロデュースを中心とした e スポーツ事業など、あらゆる角度からゲームの面白さを伝える事業に取り組んでいます。

公式サイト URL: <http://gzbrain.jp>